
妄想的夢は終わりを知らない

アルファ・レイ・ルシヴァム・リツァー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

妄想的夢は終わりを知らない

【Nコード】

N4040BA

【作者名】

アルファ・レイ・ルシヴァム・リツァー

【あらすじ】

それは、珍しくいい夢で目覚めた朝だった。起きたはずの俺は、まだ寝ているかと思う光景に出合うのだった。

さすがにこれには『どーでもいい』なんて言えない、いや、言えるか言えないかなんてどーでもいいんだけど。

夢の中の美少女は現実の妹

「輝義トヨキ？」

え、何、突然の出会いか？。身長140cmぐらいの少女が目の前に、、、

どーでもいいけど誰だこの子、超可愛いぞ。どーでもよくないぐらい可愛い。

「そーだけど。君は？」

金髪碧眼ってリアルにもいるんだな。どーでもいいけど。

「あ、えと、フィリアっています。あの、これからよろしくです。」

「え？」

なにがよろしくなの？、いや、どーでもいいや。

「よろしく」

.....

ピピピピピピピピピ

「つあ〜。よく寝たあ」

なんか俺の妄想ぐらいいい夢見たなあ、いい夢なんていつ以来だろつな、まあどーでもいいけど。

「お〜い、朝飯なにー。.....って、一人暮らしだった俺、ど

ーでもいいけど。」

「あ、ごめんさい。コーヒーぐらいしかできてないです。。。

」

「.....え」

俺まだ寝てるじゃん、なんだよ通りで目覚めいいなーって思った、どーでもいいけど

「あの、えと、ごうちゃのほぅがいいですか??」

「いや、コーヒーのが好きだよ。ありがと」

まあ朝は麦茶派なんだが、どーでもいいか。うん、可愛い子が作

つてくれたのならなんでもいい。

「っつ。」

おい、このコーヒー何度あんだよ、50度くらいあるんじゃないか、まあとーでもいいか。うん、愛の熱さだろ。っつてあれ？。これ夢なのにこんなに熱いと思うもんなのか？

「きゃっ」

「ん？つて、え？」

「死ぬかと思ったぞ」

「ご、ごめんなさいっ。卵焼き作ろうと思って・・・」

どーすると卵焼きで包丁が飛んでくるんだよ。つて、あれ？

「夢なのに痛い？」

さすがにこれはどーでもいいとか言っつてられん。これ現実？

「えつとお、頭打ちました？？。それとも寝ぼけてる？？」

「・・・ところで君は？」

「わ、わたしのことまで忘れちゃったんですか！？」

「ん〜。ごめん、寝ぼけてるみたいだ」

「い、いもうとですよ？」

「あ〜。思い出した思い出した。やっと目が覚めてきた。ごめんなファイリア」

で、何？。俺いつから妹とか居たんだった？記憶にないんだが・・・つてか俺の両親は日本人だったよな、どう突然変異したらこんな金髪碧眼美少女が生まれるんだよ。

うん、まあけどこんな可愛い子とすごせるなら、どーでもいいか。

二人目の美少女は幼馴染

「はあ、今日は朝から大変だなー、まあどうでもいいけど。」
まだ起きてから10分ほどでこんなに疲れるのは生まれて初めてだぞ、なんか可愛い子と過ごすことになったからいいけどな。

ガシャン。

「?」

なんだ?、フィリアはいるし、てか一人暮らしなんだがな、もうどーでもいいけど。

「あ、テル君起きたんだあ〜」

「・・・」

なに?この子。・・・美少女二人目?。赤い髪に藍色の目、これまた現実から遠いねえ。どーでもいいか。

「きやく、フィリアが料理してる〜、エプロンかわいい〜」

朝からこのテンション、こんな人と同居した覚えはないがな・・・
ああ〜、さっきの『ガシャン』は風呂場のドアか、シャンプーの香りがある。可愛いねえ。って、違う違う。

「あ〜、ごめん、誰だっけ?」

「え〜どうしたのテル君?寝ぼけてる??私だよー、ほしきり星木紅。幼馴染ぐらい寝ぼけてても忘れるなあ〜」

「ごめんごめん」

あ。そうですか、幼馴染ね、そういうのも確かに欲しかった。だからまあ、どーでもいいか。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4040ba/>

妄想的夢は終わりを知らない

2012年1月14日01時47分発行